

使用上の注意

品番	適応最小・最大壁厚 (mm)	鉄下地厚(mm)	最大引張強度N(kgf) t=mm	参考 ドリル径
NewSF8×53 p1.25細目ネジ	12・36	1.6~3.2	1.6t- 5,000 (510)	φ6.8~ φ6.9
NewSF8×63 p1.25細目ネジ	12・46		2.3t- 8,300 (846)	
NewSF8×78 p1.25細目ネジ	12・61		3.2t- 13,200(1,346)	
NewSF8×103 p1.25細目ネジ	12・86			
SF8×78 p1.8粗目ネジ	・59	2.3~4.5	2.3t- 5,864 (598) 3.2t- 8,414 (858) 4.5t- 14,386(1,467)	φ6.8~ φ6.9
SF8×128 p1.8粗目ネジ	27・109	2.3~6.5	2.3t- 5,864 (598)	φ6.8~ φ6.9
SF8×158 p1.8粗目ネジ	57・139		3.2t- 8,414 (858)	
SF8×178 p1.8粗目ネジ	77・159		4.5t- 14,386(1,467)	
SF8×198 p1.8粗目ネジ	97・179		6.0t- 19,613(2,000)	

推力 20Kgf~25Kgf

但し、工具に過大な推力を加えると、回転にブレーキを掛け穴あけ・ネジ立ての能率低下を招きます。

推奨回転数： 毎分1,300~1,700

推奨工具 (回転専用のスクリュードライバです、下記は2020.03現在を基にしています)

<p>コードレスドライバドリル HiKOKI (旧日立工機) DS18DBL2 18V 0~1,800回転</p> 	<p>充電式ドライバドリル マキタ DF484D 18V 0~2,000回転</p> 	<p>テクス用ドライバ HiKOKI (旧日立工機) W8V 100V 700~1,700回転</p> 
---	--	---

- ①(社)仮設工業会編の足場工事マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して下さい。
- ①許容荷重=最大引張強度÷安全率(法令の定め・施工現場の環境を考慮し安全率は2.0以上を目安して下さい)
- ①外壁材とアシツナギのナット部は、過剰な締め付けによるトラブルを防ぐため僅かな隙間を設けて締結して下さい。
- ①引張強度≠圧縮強度ですが、極力曲げ方向の荷重負担のない状態で壁つなぎの接続して下さい。
- ①推奨工具は回転専用スクリュードライバです、14.4V以上の機種で毎分1,300~1,700回転で締結して下さい。
- ①推奨工具以外のインパクトレンチ・インパクトドライバーでは、適正な穴加工・ネジ加工が行えず強度の保証は致しかねます。
- ①鉄下地が厚い場合でネジ加工がスムーズに行えない場合は、回転を下げてトルク調整をして締結して下さい。
- ①付属の専用ビットを必ず使用して下さい。
- ①専用ビット及び推奨工具以外の使用では、ネジ頭のリセス及びビットの破損を招き施工トラブルが生じます。
- ①アシツナギの締結は、下地に対し直角に施工して下さい。
- ①壁つなぎの雄ネジ部に傷や錆び等のままで、接続しないで下さい。
- ①推奨工具を使用せず下穴を別工具で穴あけ加工したの締結では、記載の最大引張強度は得られません。
- ①鉄下地に下穴をあける場合は、参考ドリル径を基に回転専用工具を必ず使用して下さい。

イファス株式会社/株式会社シグテックファスナー
詳しい情報はこちらから <http://www.iifas.jp> Email:sales@iifas.jp